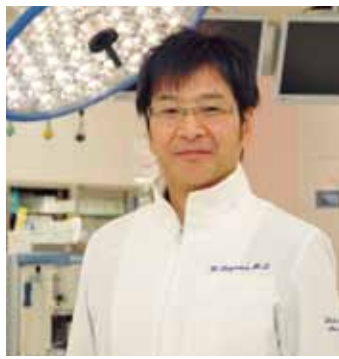


# 免震設計の手術室を備え、 脳卒中の予防と治療に努める

充実した設備で  
偏りのない治療を

2013年12月、新棟が完成した。免震設計された手術室はリアルタイムで映像を表示する4Kモニタや手術ナビゲーションシステムを備え、90平方メートルの広さを持つ。同院の最高顧問を務め、鍵穴手術の考案者としても知られる福島孝徳医師もここで手術を行うという。MRIについても、従来のオープン型に加え、最新のト



院長 豊山 弘之

とやま・ひろゆき ●1993年東海大学医学部卒業、同大学脳神経外科入局。2005年志太記念脳神経外科開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医

管内治療は開頭する必要がなく、局所麻酔で行えるため体への負担を抑えられる。どちらの治療が適しているかは患者の年齢や状況によって異なる。豊山弘之院長はどちらか一方を優先するといった考えを持たず、症例ごとにリ

ンネル型（1・5T）を導入した。同院における手術は予防的な治療が中心となる。くも膜下出血につながる脳動脈瘤、脳梗塞の原因ともなる頸部頸動脈狭窄症、一過性脳虚血発作を繰り返す進行性の脳梗塞が主な対象だ。この内、最も多い脳動脈瘤に対しては、開頭手術と血管内治療を選択できる。

開頭手術は、脳動脈瘤の根本を目で確認し、しっかりとクリップで止めるので高い根治性を期待できる。一方、カテーテルを用いる血管内治療は開頭する必要

スクを判断し、患者の希望を聞きながら治療方針を決めている。手術の際は、経験を積んだ看護師、臨床検査技師、臨床工学技士のサポートが心強い。いつも同じメンバーで手術を行い、「声をかけなくてもスピードが乗ってくる」というほどのチームワークだ。

## 脳卒中の予防を通じて 志太地域の健康を守る

生活習慣の改善は脳卒中の予防に有効なため、豊山院長は地域での講演を通じて啓発活動を続けてきた。同院は災害時の拠点となるべく救護スペースを設け、廊下や階段も幅広く設計されている。地域への貢献を軸とした医療は同院の大きな特徴となっている。

「脳の重大な疾患を防ぐには、高血圧、糖尿病、高脂血症といった危険因子となる病気がないかを知ることが重要です。また、不整脈は心原性脳梗塞の原因ともなります。聴診器を使った基本的な診療を大切にしています」と話す豊山院長の目は、地域の人たちの健康に向けて

取材／斉藤雅幸



免震設計された広々とした手術室

診療科目：脳神経外科、リハビリテーション科

診療時間：月・水～金 9:00～12:00／15:30～17:30  
火・土 9:00～12:00

休診日：火午後・土午後・日・祝



〒425-0073 静岡県焼津市小柳津 371-1

TEL.054-620-3717 <http://www.shida-clinic.com/>